

病理診断部

1. スタッフ

科 長 (教 授)	田中 亨 (兼務)
副科長 (准教授)	川井 俊郎
医 員 (教 授)	仁木 利郎 (兼務)
	(准教授) 弘中 貢 (兼務)
	(准教授) 金井 信行 (兼務)
	(学内准教授) 山口 岳彦 (兼務)
	(助 教) 河田 浩敏 (兼務)
	(助 教) 松原 大祐 (兼務)
シニアレジデント	1 名

In situ hybridization :	62件
FISH法 :	25件
P C R 検 索 :	54件

2. 病理診断部の特徴

施設認定

日本病理学会認定施設、臨床細胞診学会認定施設

日本病理学会専門医：田中 亨 ほか 8 名

臨床細胞診専門医：川井 俊郎 ほか 6 名

病理診断部では生検診断、細胞診、術中迅速診断、外科病理診断、剖検診断を行い、自治医科大学附属病院の診療に貢献している。病理診断部では自治医科大学附属病院で採取、摘出されたすべての検体について病理医による適正な標本処理を行い、必要十分な顕微鏡標本の作製を行う。さらに、必要に応じて免疫組織化学的検索や電子顕微鏡検索を行い、複数の病理医による相互チェックのもと最終病理診断書の作製がなされ臨床科へ報告される。

3. 業務実績

1) 病理診断件数

平成20年における生検診断は13,811件、細胞診は18,697件、術中迅速診断は745件、剖検診断は68件である。組織診や細胞診の件数では全国有数のレベルにあるが、近年、剖検数は減少傾向にある。

2) 部門統計のまとめ

病理組織診断件数 :	13,811件
迅速診断 :	745件
病理組織診断HE染色枚数 :	131,840枚
病理診断特殊染色枚数 :	29,456枚
細胞診件数 :	18,697件
病理解剖 :	68件
電子顕微鏡 :	235件
免疫染色法 :	1,498件、9,799枚
蛍光抗体法 :	224件
Hercep Test件数 :	285件

3) 病理診断精度管理について

組織診断では病理診断部医師2名によるダブルチェックを行い報告する。問題症例については、必ず、教授、准教授によるチェックを行い、必要に応じて外部へコンサルトする。細胞診についてはスクリーナーによりダブルチェックを行い、クラスⅡ以上の症例についてはスクリーナーと細胞診指導医あるいは病理認定医とのディスカッションを経て、最終報告書を作製している。

4) 臨床病理カンファレンス

- A) 研修医CPC：病理部内で行われていた研修医CPCを改変し、卒後臨床研修センター主催として、レジデントが多く参加できる環境を整備した。平成20年度は4回の開催にとどまったが、密度の高い討議が行われた。
- B) 臨床各科との合同カンファレンス：放射線科とのカンファレンスを毎週行っている。また、呼吸器内科カンファレンスを毎月開催している。それ以外の臨床科でもカンファレンスの開催希望が多いが通常業務の増大により対応できない状況にある。

4. その他

病理検体処理過程におけるエラー防止のため、医療安全学講座河野龍太郎教授の指導のもと、業務プロセスの見直しに取り組んでいる。また、ホルマリン濃度基準をクリアする為の設備改善も予定されている。なお、腫瘍診療の高度化に伴う病理診断の精度管理システム向上のため、Virtual slide装置が設置予定である。

病理診断部連絡先：

電話 0285-58-7186
Fax 0285-44-8467